

公益財団法人 全国商業高等学校協会主催・文部科学省後援

第57回 ビジネス文書実務検定試験 (28. 11. 27)

第2級

速度部門問題

(制限時間10分)

試験委員の指示があるまで、下の事項を読みなさい。

〔書式設定〕

- a. 1行の文字数を30字に設定すること。
- b. プロポーショナルフォントは使用しないこと。

〔注意事項〕

1. ヘッダーに左寄せで受験級、試験場校名、受験番号を入力すること。
2. 問題のとおり、すべて全角文字で入力すること。
3. 長音は必ず長音記号を用いること。
4. 入力したものの訂正や、適語の選択などの操作は、制限時間内に行うこと。
5. 問題は、文の区切りに句読点を用いているが、句点に代えてピリオドを、読点に代えてコンマを使用することができる。ただし、句点とピリオド、あるいは、読点とコンマを混用することはできない。混用した場合はエラーとする。
6. 時間が余っても、問題文を繰り返し入力しないこと。

第57回 ビジネス文書実務検定試験 (28. 11. 27)

第2級 速度部門問題 (制限時間10分)

食生活において、栄養バランスの偏りや朝食を抜くなどの理由により、子どもたちの健康が心配されている。幼い時期に肥満になると、生活習慣病になるリスクが高い。そのため、食における正しい知識が必要とされている。	30 60 90 103
そこで、国は食に関する知識と選択する力を付け、健全な食生活を送れる人間の育成を食育と定義し、普及に努めている。2年前からは、その効果を多角的に検証するため、スーパー食育スクールを指定している。テーマごとに各校が実践と検証を重ねて、まとめた研究結果を発信している。	133 163 193 223 236
ある学校では、タブレットPCに、毎日の食事のデータを入力させる取り組みを行った。データは食品群ごとに点数化されて、毎月児童に返される。この結果を受け、不足していた果物や牛乳の摂取が増え、栄養バランスが良くなった。	266 296 326 344
今後も、食を通じた学びの視点を取り入れ、食育を推進することが重要である。それにより、子どもたちが食に関する理解を深めることで、望ましい食習慣が定着する。未来を支える子どもたちが、たくましく健やかに成長していくことを心から願いたい。	374 404 434 460